

科目名 (科目コード)	子どもの保健【1367】	配当年次	1	担当 教員	岩上浩美	対象 区分			
		単位数	2						
授業の ねらい	<p>子どもの心身の発達を理解し、子どもの健康と安全、命を守るための保健活動意義と必要性について保育者としての知見を得る。また、子どもの病気についての基礎知識や予防の知識を学び、子どもの示す症状から異常を早期に発見し、判断、ケアできる能力、そして子どもの命を守るための取り組みを実践できる力を得る。</p>								
授業の 計 画	<p>第 1 回：保育士として小児保健活動を実施する意義や内容、子どもの命を守る観点から保健活動の必要性についても含めて考える。</p> <p>第 2 回：生物の一つであるヒトとしての成り立ちや受精から赤ちゃん誕生まで、胎児の育つ過程を理解し、生まれ出る子どもの命の大切さについて学ぶ。子どものこころと身体の発達について学ぶ。</p> <p>第 3 回：子どものこころと身体の発達について学ぶ。7～12カ月、1～2歳の子どもの身体的・精神的発達について理解する。</p> <p>第 4 回：子どものこころと身体の発達について学ぶ。3～6歳、学童期の子どもの身体的・精神的発達について理解する。</p> <p>第 5 回：子どもの生理的機能（呼吸・体温・脈拍など）の意義、月齢・年齢による数値の理解と評価の仕方や歯・眼・排泄・消化機能について、各部の構造と機能を理解する。</p> <p>第 6 回：現在の子どもの現状（出生率や事故、死亡原因など）、社会的背景など公衆衛生の観点から現代の子どもの取り巻く様々な問題点について考える。</p> <p>第 7 回：子どもの感染症について学ぶ。感染症とは何なのか？保育者として必要な知識を学ぶ。</p> <p>第 8 回：子どもを感染症から守る、予防について学ぶ。保育者として子ども一人一人の予防接種計画について確実に立案、遂行できているかを判断できる力を養う。</p> <p>第 9 回：子どもの呼吸器・消化器・泌尿器・循環器・耳鼻咽喉・眼の疾患などについて学ぶ。子どもの示す症状、訴えを判断できる能力を養い、異常の早期発見ができるようになる</p> <p>第 10 回：乳児の疾患について学ぶ。乳児の身体的特徴、発達の過程を踏まえて、最も細かい観察と迅速な判断が必要な時期である乳児のケアについて学ぶ</p> <p>第 11 回：子どものアレルギーについて学ぶ。人の体はどのように外部からの病原体の侵略から身を守っているのか、人の免疫機構とアレルギーへの対応を理解する。</p> <p>第 12 回：子どもの発達の障害について、子どもの現在の生活習慣から生じる問題、食習慣、睡眠習慣、生活リズムについて学ぶ。発達の過程で身につけるべき自律神経系の確立を図るための知識を得る。</p> <p>第 13 回：妊娠から赤ちゃんの誕生へ、母子保健対策として子どもと保護者に対する支援を学ぶ</p> <p>第 14 回：保育園・幼稚園園内における安全対策と子どもの命を守るための危機管理について学ぶ</p> <p>第 15 回：まとめ</p>								
教科書	「保育のための小児保健」 保育出版社								
持参物	教科書								
評価方法	受講態度、受講意欲、小テスト								